

第19回例会 2014.12.01-2014.12.07 [会長挨拶]

会長: 東 岳也

みなさん、こんにちは。2730 ジャパンカレントロータリーEクラブ第19回例会を開催いたします。

例会開始日の翌日となるあすは衆議院議員選挙の告示日となりました、当クラブからもお一人立候補をされていらっしゃる方がいらっしゃいます。ロータリーでは政治的
主題の禁止が定款にもありますので、改めて詳細は控えますが、最後まで健康に留意して頑張ってくださいたいものであります。

また、その投票日となる14日はクラブ総会の日であります。当初、翌週に任期満了に伴う選挙があり、日程を14日にお願いしたものでしたが、その後衆議院 選挙が入り、他の日程もすでに業務で埋まっていたため、代理を会長経験のある菊地研修リーダーをお願いをいたしました。

このクラブ総会は次年度の役員、理事を決定するクラブにとって重要なものになります。

是非、期日前投票に行ってくださいますようによろしく申し上げます。

さて、今月ロータリーでは家族月間となります。

家族月間の歴史は、1995-96年度ハーバート・ブラウン会長が、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明し、そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年7月の同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジアベ会長が、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

この月間は、ロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、クラブおよび地区はロータリー家族委員会を設置し、会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りや善意の行動は、さまざまな考えを協力的に分かち合い、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されています。現在、インターアクター、ローターアクター、ロータリー財団学友、ロータリー地域社会共同隊など、ロータリーに関係するすべての人の組織を含めて「ロータリー家族」と呼んでいます。この偉大な「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことが奨められています。

ここで、この家族月間についての歴史を振り返ってみたいと思います。

・1995～96 年度ハーバート・ブラウン会長

11 月 RI 理事会で 2 月第 3 週(のちに第 2 週)を家族と地域社会週間(のちに家族週間)と指定。「家族の平和が地域の平和に、それが国家の平和につながるから、健全な家庭を再認識して下さい。」

・1997～98 年度グレン・キンロス会長

「私たちは世界理解と平和を究極の目的として、その進むべき未来と運命の道筋を描いて来ました。これこそ全世界のロータリアンをロータリー家族としてつなぐ唯一の理念です。」

・2002～03 年度ビチャイ・ラタクル会長

「家族は地域社会を築く一つの積み木である。家族の絆を強化するためにはロータリアンが尽力すべし。家族の絆が強まれば地域社会も強化されます。」

・2003～04 年度ジョナサン・マジヤベ会長

ロータリー家族を RI 会長強調事項に挙げ、12 月を「家族月間」と指定。(この時点で 2 月の家族週間は廃止。)ロータリアン家族、すなわち配偶者、お子様、お孫さん、物故会員の配偶者の方々を主対象としながら、ロータリーにかかわるすべての人々を対象とした。

・2004～05 年度グレン・エステス会長

前年度 RI 会長強調事項を引き継ぎ、財団学友、GSE、IAC、RAC、青少年交換、RYLA、RCC などを含む具体的対象を示した。「ロータリー家族への心遣いの奨励」を強調。

・以後 2007～08 年度ウィルフリッド・ウィルキンソン会長まで、「ロータリー家族」は会長

強調事項の 1 つとして継続。

・2008～2009 年度 D.K.リー会長

強調事項に入れてないが、すでに常識として「全てのロータリアンと関連する人々との絆を強化して、ロータリーの目標と理念の推進に共に協力しよう。」

・2010～2011 年度カルヤン・バネルジー会長

強調事項の第一に「家族」を挙げ「ロータリーの目指す全てのことの出発点は家族、特に中心は母と子にあります。」と原点的強調

以上、ロータリーにおける家族月間に関する歴史をまとめてみましたが、もちろん私たちクラブ会員個々においても「家族」は存在するわけであり、その家族の理解なくし

ではロータリー活動を満足にすることはできません。

今後、家族も含めた親睦活動をクラブでも計画していくことができたらと思います。

来月から下半期に入ります。

下 半期には各クラブのまとめ、次年度の計画とあり、地区においても様々なものが計画されていきます。今回の幹事報告、皆様へメールでもご案内がありました が、宮崎県内分区合同でIM(インターシティーミーティング)が開催され、元RI会長である田中作次様が基調講演をなされます。

是非とも皆様ご都合をつけていただき参加いただくようお願いいたします。

また、これに関する登録料については「全員登録」の依頼が来て、先日理事会で承認されておりますので、下期の会費徴収に合わせ納入をお願いすることになります。

全員登録とはクラブや分区等で会場費やその他必要経費などをねん出するために登録料を比較的安価にしてクラブ全員で協力をするものです。

事前に理事会に諮り承認を得てはおりますが、今後ともご協力をお願いいたします。